

## 鹿 児 島 県 公 報

平成27年11月20日（金）第3164号の3



発 行 鹿 児 島 県  
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号  
編 集 総 務 部 学 事 法 制 課  
定 例 発 行 日 （ 毎 週 火 ， 金 ）

## 目 次

(※については例規集掲載事項)

ページ

## 規 則

○鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の一部を改正する規則（※）

(自然保護課取扱い) 1

## 規 則

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。  
平成27年11月20日

鹿児島県知事 伊藤祐一郎

## 鹿児島県規則第31号

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則の一部を改正する規則

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則（昭和55年鹿児島県規則第41号）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行細則

第1条中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（）」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（）」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行令」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行令」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改める。

第10条中「又は届出」を「，届出等」に改め、「並びに省令に定めのあるもののほかその書類に添付すべき資料」を削り，同条の表を次のように改める。

書 類 の 区 分	名 称 及 び 様 式
法第9条第1項の許可の申請に係る書類	鳥獣捕獲許可申請書（学術研究用） （別記第1号様式） 鳥獣捕獲許可申請書（管理用）（別記第1号様式の2） 鳥獣捕獲許可申請書（飼養目的用） （別記第1号様式の3） 鳥獣捕獲許可申請書（保護その他用） （別記第1号様式の4）
法第9条第8項の従事者証の交付の申請に係る書類	従事者証交付申請書（別記第2号様式）
法第14条の2第8項第2号の確認の申請に係る書類	夜間銃猟作業計画確認申請書（別記第3号様式）
法第14条の2第9項により読み替えて適用する法第9条第8項の従事者証の交付の申請に係る書類	指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証交付申請書（別記第4号様式）
法第15条第4項の許可の申請に係る書類	指定猟法許可申請書（別記第5号様式）

法第18条の3第1項の申請書	認定申請書（別記第6号様式）
法第18条の7第2項において準用する法第18条の3第1項の申請書	変更認定申請書（別記第7号様式）
法第18条の7第3項の規定による届出に係る書類	認定事項変更届出書（別記第8号様式）
法第18条の7第4項の規定による届出に係る書類	認定鳥獣捕獲等事業廃止届出書（別記第9号様式）
法第18条の8第6項において準用する法第18条の3第1項の申請書	認定有効期間更新申請書（別記第10号様式）
法第19条第1項の登録の申請に係る書類	登録申請書（別記第11号様式）
法第19条第5項の規定による更新の申請に係る書類	登録有効期間更新申請書（別記第12号様式）
法第20条第3項の規定による届出に係る書類	登録鳥獣譲受（引受）届（別記第13号様式）
法第24条第1項の許可の申請に係る書類	販売許可申請書（別記第14号様式）
法第29条第7項の許可の申請に係る書類	特別保護地区（特別保護指定区域）内行為許可申請書（別記第15号様式）
法第32条第2項の請求に係る書類	損失補償請求書（別記第16号様式）
法第35条第3項の承認の申請に係る書類	特定猟具使用承認申請書（別記第17号様式）
法第38条の2第1項の許可の申請に係る書類	麻醉銃猟許可申請書（別記第18号様式）
法第41条の申請書	狩猟免許申請書（別記第19号様式）
法第51条第1項の申請書	狩猟免許更新申請書（別記第20号様式）
法第56条の申請書	狩猟者登録申請書（別記第21号様式）
法第61条第2項の申請書	狩猟者変更登録申請書（別記第22号様式）
法第46条第1項若しくは第61条第4項又は省令第7条第11項若しくは第12項、第15条第6項、第20条第5項、第24条第5項若しくは第42条第5項の規定による届出に係る書類	住所等変更届出書（別記第23号様式）
省令第7条第13項若しくは第14項、第15条第7項、第20条第6項、第24条第6項、第42条第6項、第50条又は第65条第10項の規定による届出に係る書類	許可証等亡失届出書（別記第23号様式）
法第9条第9項、第15条第7項、第19条第6項、第24条第6項、第35条第8項、第46条第2項又は第61条第5項の申請に係る書類	許可証等再交付申請書（別記第23号様式）
省令第19条の9第4項の申請書	認定証再交付申請書（別記第24号様式）
省令第19条の9第5項の規定による届出に係る書類	認定証亡失届出書（別記第24号様式）
省令第59条の2の確認に係る書類	狩猟について必要な適性の確認をした旨の書面（別記第25号様式）

別記第1号様式中 「生年月日 年 月 日生 を  
電話番号

「生年月日 年 月 日生  
電話番号

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、  
名称、電話番号及び代表者の氏名〕

に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関

する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に、「鳥獣の保護及

び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、同様式注5中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改める。

別記第1号様式の2中

「鳥獣捕獲許可申請書（有害鳥獣捕獲等及び特定鳥獣の数の調整用）  
年 月 日」を  
「  
鳥獣捕獲許可申請書（管理用）  
年 月 日」に、

「，鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「，鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、同様式注1中「有害鳥獣の捕獲等及び特定鳥獣の数の調整」を「管理」に改め、同様式注6中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改める。

別記第1号様式の3中 「生年月日 年 月 日生」を  
電話番号

「生年月日 年 月 日生  
電話番号 — —

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、  
名称、電話番号及び代表者の氏名〕に、「，鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関

する法律」を「，鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、同様式注2中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改める。

別記第1号様式の4中「傷病」を「保護」に、

「生年月日 年 月 日生」を  
電話番号

「生年月日 年 月 日生  
電話番号 — —

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、  
名称、電話番号及び代表者の氏名〕に、「，鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関

する法律」を「，鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、同様式注2中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改める。

別記第2号様式中「捕獲許可証」を「捕獲等又は採取等に係る許可証」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改める。

別記第15号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（）」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（）」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、「第11条の2第9項」の次に「，第13条の9第5項，第13条の9第6項」を加え、「第42条第5項」の次に「，第46条の2第5項」を加え、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第61条第4項」を「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律第9条第6項の規定により読み替えて適用する鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第61条第4項」に改め、「第11条の2第10項」の次に「，第13条の9第7項」を、「第42条第6項」の次に「，第46条の2第6項」を、「第11条の2第7項」の次に「，第13条の9第4項，第46条の2第4項」を加え、

「 (該当項目の□にレ印を付す)			
<input type="checkbox"/> 狩猟免状	<input type="checkbox"/> 狩猟者登録証	<input type="checkbox"/> 狩猟者記章	を
<input type="checkbox"/> 鳥獣の捕獲等許可証	<input type="checkbox"/> 従事者証	<input type="checkbox"/> 承認証（対象狩猟鳥獣）	
<input type="checkbox"/> 指定猟法許可証	<input type="checkbox"/> 鳥獣飼育登録票	<input type="checkbox"/> 販売許可証	
<input type="checkbox"/> 承認証（特定猟具使用）			
」			
「 (該当項目の□にレ印を付す)			
<input type="checkbox"/> 狩猟免状	<input type="checkbox"/> 狩猟者登録証	<input type="checkbox"/> 狩猟者記章	に
<input type="checkbox"/> 従事者証	<input type="checkbox"/> 承認証（対象狩猟鳥獣）	<input type="checkbox"/> 指定猟法許可証	
<input type="checkbox"/> 鳥獣飼育登録票	<input type="checkbox"/> 販売許可証	<input type="checkbox"/> 承認証（特定猟具使用）	
<input type="checkbox"/> 指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証			
<input type="checkbox"/> 麻酔銃猟許可証			
」			

改め、同様式（注）中「（注）」を「注」に改め、同様式（注）に次のように加える。

4 法人にあつては、住所の欄は主たる事務所の所在地を、氏名の欄は名称と代表者名を記入すること。

別記第15号様式備考中「あて先」を「宛先」に改め、同様式を別記第23号様式とし、同様式の次に次の2様式を加える。

## 第24号様式（第10条関係）

年 月 日	
認定証再交付申請書 認定証亡失届出書	
鹿児島県知事 殿	
住 所	(〒      -      )  電話番号      -      -
名 称	
代表者 の氏名	印
(該当項目の□にレ印を付す)	
<input type="checkbox"/> 再交付申請 認定証を亡失（滅失）したので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第19条の9第3項の規定により、次のとおり認定証の再交付を申請します。	
<input type="checkbox"/> 亡失届出 認定証を亡失したので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第19条の9第5項の規定により、次のとおり届け出ます。	
認定証	番 号
	交付年月日      年      月      日
亡失又は再交付の理由	

注1 不要な文字は抹消し、該当項目の□にレ印を付すこと。

2 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。

第25号様式（第10条関係）

狩猟について必要な適性の確認をした旨の書面

年 月 日

鹿児島県知事 殿

申請者 住 所 ー  
 電話番号 ー ー  
 名 称  
 代表者の氏名 印

以下の事業従事者については、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の6第1項に規定する認定鳥獣捕獲等事業に従事する者であることを証明するとともに、狩猟について必要な適性を有することを確認したので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第59条の2の規定により提出します。

事業従事者の氏名	適性を有することを 確認した日	適性を有することを 確認した方法	結 果

- 注1 「適性を有することを確認した日」の欄には、狩猟免許の更新の申請前1年以内の年月日を記載すること。
- 2 「適性を有することを確認した方法」の欄には、安全管理規程に定める事業従事者の心身の健康状態の把握に関する事項のうち、視力、聴力及び運動能力の把握に関する事項に基づき実施した方法（医師の診断書、健康診断の結果等）を記載すること。
- 3 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。
- 4 認定鳥獣捕獲等事業者が作成すること。
- 5 複数人分をまとめて作成することができる。
- 6 この書面は、発行の日から3か月以内に限り有効とする。

別記第14号様式（表面）中

「

※放鳥獣猟区の区域の登録の有無	
-----------------	--

」を

「

※放鳥獣猟区の区域の登録の有無	
※法施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者であるか否かの別	
※対象鳥獣捕獲員であるか否かの別	

」に、「鳥獣の保護及び狩

猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式（裏面）記載上の注意事項2中「かい書で明りよう」を「楷書で明瞭」に改め、同様式（裏面）添付書類に次のように加える。

3 申請者が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者である場合は、狩猟税減免措置について要件を備えていることを証する書面

別記第14号様式（裏面）備考中「あて先」を「宛先」に改め、同様式を別記第22号様式とする。

別記第13号様式（表面）中

「

※放鳥獣猟区の区域の登録の有無	
-----------------	--

」を

「

※放鳥獣猟区の区域の登録の有無	
※法施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者であるか否かの別	

」に、「鳥獣の保護及び狩

猟の適正化に関する法律第56条」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第56条（鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律第9条第6項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）に改め、同様式（裏面）中

「

(4) 免許の効力の停止の有無（有無のいずれかに○印を付し、かつ、有の場合には、その停止の期間を記載すること。）
--

」を

「

(4) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者であるか否かの別（該当項目の□にレ印を付する。）
<input type="checkbox"/> 許可捕獲等をした者 <input type="checkbox"/> 許可捕獲等に従事した者
<input type="checkbox"/> 認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者 <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない
(5) 免許の効力の停止の有無（有無のいずれかに○印を付し、かつ、有の場合には、その停止の期間を記載すること。）

」に、

「(5)」を「(6)」に、「(6) 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「(7) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に、「(7)」を「(8)」に改め、同様式（裏面）記載上の注意事項2中「かい書で明りよう」を「楷書で明瞭」に改め、同様式（裏面）記載上の注意事項4中「(7)」を「(8)」に改め、同様式（裏面）記載上の注意事項5を次のように改める。

5 ※印欄には、申請者は記載しないこと。

対象鳥獣捕獲員であるか否かの別の欄は、対象鳥獣捕獲員である場合は所属市町村名を、対象鳥獣捕獲員でない場合は「否」と記載するものとする。

また、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者であるか否かの別の欄は、該当者である場合は「有」を、該当者でない場合は「否」と記載するものとする。

別記第13号様式（裏面）添付書類に次のように加える。

- 4 申請者が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者である場合は、狩猟税減免措置について要件を備えていることを証する書面

別記第13号様式（裏面）備考中「あて先」を「宛先」に改め、同様式を別記第21号様式とする。

別記第12号様式（表面）中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式（裏面）注4中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、同様式を別記第20号様式とする。

別記第11号様式（表面）中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式（裏面）中「更新の」を「他の申請の」に、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に、「受けることがないようになった」を「受けることのなくなった」に、

「

執行を受けることのなくなった年月日	
-------------------	--

」を  
「

執行を受けることのなくなった年月日	年 月 日
-------------------	-------

」に、  
「

年 月 日	免 許 の 種 類

」を  
「

年 月 日	免 許 の 種 類
年 月 日	

」に改

め、同様式（裏面）注4中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」に改め、同様式を別記第19号様式とする。

別記第10号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式を別記第17号様式とし、同様式の次に次の1様式を加える。



第18号様式（第10条関係）

<p>麻酔銃猟許可申請書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>鹿児島県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">〒 — —</p> <p>申請者 住 所</p> <p>電話番号 — —</p> <p>ふりがな</p> <p>氏 名 <span style="float: right;">印</span></p> <p style="text-align: right;">〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、 電話番号、名称及び代表者の氏名〕</p> <p>鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第38条の2第2項の規定により、住居集合地域等における麻酔銃猟の許可を受けたいので、次のとおり申請します。</p>	
使用する麻酔薬の名称及び量	
住居集合地域等において麻酔銃猟をしなければならない理由	
捕獲等をする期間	
捕獲等をする区域	
捕獲等をする鳥獣の種類及び数量	
危害の防止のための措置	
麻酔銃の所持許可証の番号及び交付年月日（所持許可者以外が実施する場合は、人命救助等に従事する者届出済証明書の番号及び交付年月日を含む。）	

注1 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。

- 2 「使用する麻酔薬の名称及び量」の欄には、使用薬名又は麻酔薬の主成分及び1発射当たりの施用量を明示すること。
- 3 「住居集合地域等において麻酔銃猟をしなければならない理由」の欄には、当該住居集合地域等で実施しなければならない理由及び麻酔銃猟によらなければならない理由等を記載すること。
- 4 「捕獲等をする区域」の欄には、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図等を添付すること。
- 5 「危害の防止のための措置」の欄には、人の身体、生命に予期しない危険を及ぼすおそれを回避する観点から行う措置（方法等の工夫等）を具体的に記入すること。
- 6 住居集合地域等での麻酔銃猟については、本許可申請の他に、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第2項の規定に基づく許可申請が必要であり、さらに、必要に応じて同法第37条第2項に基づく危険猟法の許可申請が必要であることに留意すること。

別記第9号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式備考中「あて先」を「宛先」に改め、同様式を別記第16号様式とする。

別記第8号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式記載上の注意事項(1)中「(1)」を「1」に改め、同様式記載上の注意事項(1)ア中「ア」を「(1)」に改め、同様式記載上の注意事項(1)イ中「イ」を「(2)」に改め、同様式記載上の注意事項(1)ウ中「ウ」を「(3)」に改め、同様式記載上の注意事項(2)中「(2)」を「2」に改め、同様式添付図面(1)中「(1)」を「1」に改め、同様式添付図面(2)中「(2)」を「2」に改め、同様式添付図面(3)中「(3)」を「3」に改め、同様式備考中「あて先」を「宛先」に改め、同様式を別記第15号様式とする。

別記第7号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式を別記第14号様式とする。

別記第6号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に、「引受人」を「引渡人」に改め、同様式を別記第13号様式とする。

別記第5号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式を別記第12号様式とする。

別記第4号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改め、同様式を別記第11号様式とする。

別記第3号様式中「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第15条第4項」を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第15条第4項ただし書」に改め、同様式（注）中「(注)」を「注」に改め、同様式を別記第5号様式とし、同様式の次に次の5様式を加える。



## 別紙1 捕獲従事者名簿

氏名	生年月日	狩猟免許の種類	※銃器を使用する場合		救急救命講習 の受講の有無
			銃器の種類	夜間銃猟をする 者	

捕獲従事者証名簿の記載に当たっては、次の事項に留意すること。

- 1 全ての捕獲従事者は、安全管理講習及び技能知識講習を修了していること。
- 2 「狩猟免許の種類」の欄には、捕獲従事者が現に受けている全ての狩猟免許の種類（第1種銃猟免許、第2種銃猟免許、わな猟免許又は網猟免許）を記載すること。
- 3 ※については、銃器を使用する場合は、「銃器の種類」の欄に当該捕獲従事者が鳥獣捕獲等事業で使用する全ての銃器の種類（散弾銃、ライフル銃、空気銃等）を記載することとし、夜間銃猟を実施する場合は、捕獲従事者のうち実際に夜間銃猟をする者について、「夜間銃猟をする者」の欄に○を記載すること。なお、全ての夜間銃猟をする者は、夜間銃猟安全管理講習を修了しているとともに、夜間銃猟の技能要件を満たすこと。
- 4 「救急救命講習の受講の有無」の欄については、捕獲従事者が受講した場合は○を記載すること。なお、捕獲従事者の半数以上が受講していること。

## 別紙2 添付書類一覧

※申請書に添付した書類について、□にレ印を付すこと。

- 法人の定款又は寄附行為
- 法人の登記事項証明書
- 役員及び事業管理責任者の名簿（代表者を含む役員及び事業管理責任者の住所、本籍、氏名、生年月日及び役職を記載したもの）
- 雇用契約書の写しその他申請者の事業管理責任者に対する使用関係を証する書類
- 鳥獣捕獲等事業の実施に係る安全管理規程（夜間銃猟の実施に係る安全管理規程を含む。）
- 事業管理責任者が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則（以下「施行規則」という。）第19条の4第1項第2号イ及びロに掲げる事項を実施する旨を誓約する書面
- 事業管理責任者及び捕獲従事者の狩猟免許の写し
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した救急救命講習の修了証の写し又はこれに類する書類
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した安全管理講習の修了証の写し又はこれに類する書類
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した安全管理講習の内容及び時間を記した書類
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した技能知識講習の修了証の写し又はこれに類する書類
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した技能知識講習の内容及び時間を記した書類
- 施行規則第19条の7に規定する研修に関する計画書
- 申請者の捕獲実績を記した書類（鳥獣の捕獲等の発注者の氏名又は名称、鳥獣の種類、実施期間、実施区域、捕獲等の方法及び捕獲数を記した書類（事業の契約書、仕様書、事業報告書等）並びに申請前3年以内に実施した鳥獣の捕獲等において発生した全ての事故に関する報告書を含む。）
- 役員及び事業管理責任者が施行規則第19条の8第3号イからホまでに該当しない旨の誓約書
- 施行規則第19条の8第4号に規定する損害保険契約の写し又は同号に規定する共済事業の被共済者であることを証する書類
- 申請者が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の4に規定する欠格事由に該当しない旨の誓約書

（銃猟による事業を実施する場合）

- 捕獲従事者の銃砲刀剣類所持許可証の写し（麻醉銃の場合にあつては、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第5条第2項に定める人命救助等に従事する者届出済証明書の写しを含む。）

（夜間銃猟を実施する場合）

- 夜間銃猟をする捕獲従事者の技能が基準に適合することを証する書類
  - 射撃技能を証明する書類
  - 捕獲実績に関する書類
  - 人格識見を有する旨の推薦書
- 夜間銃猟安全管理講習の修了証の写し
- 夜間銃猟の実施に係る安全管理規程



第8号様式（第10条関係）

## 認定事項変更届出書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

〒           —  
 主たる事務所の所在地  
 電話番号           —           —  
 名 称  
 代表者の氏名

印

下記のとおり認定事項を変更したので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の7第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

変更前の住所	〒           —
変更前の名称	
変更前の代表者の氏名	
認定証の番号	
認定証の交付年月日	年 月 日

変更の内容	変更前	変更後
変更の理由		
変更年月日	年 月 日	

注1 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。

2 住所、名称又は代表者の氏名に変更がない場合は、「変更前の住所」の欄、「変更前の名称」の欄及び「変更前の代表者の氏名」の欄のうち、変更がない事項に係る欄の記載を省略することができる。

3 この届出に係る変更が、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第19条の2第2項各号に掲げる書類の変更を伴うときは、当該変更後の書類を添付すること。

第9号様式（第10条関係）

## 認定鳥獣捕獲等事業廃止届出書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

〒 ー  
主たる事務所の所在地  
電話番号 ー ー  
名 称  
代表者の氏名

印

認定鳥獣捕獲等事業を廃止したので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の7第4項の規定により、次のとおり届け出ます。

認定証の番号	
認定証の交付年月日	年 月 日
廃止した日	年 月 日

注 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。



第10号様式（第10条関係）

認定有効期間更新申請書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

〒 ー  
 申請者 主たる事務所の所在地  
 電話番号 ー ー  
 名 称  
 代表者の氏名 印

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の8第2項の規定により、認定の有効期間の更新を受けた  
 いので、同条第3項の規定により、次のとおり申請します。

認定証の番号	
認定証の交付年月日	年 月 日
認定をした都道府県知事名	

鳥獣捕獲等事業により捕獲等をする鳥獣の種類及びその方法	装薬銃を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	1 ニホンジカ 2 イノシシ 3 ニホンザル 4 その他（ ）
	空気銃を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
	わなを使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
	網を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
鳥獣捕獲等事業の実施体制	事業管理責任者の役職・氏名	
	捕 獲 従 事 者	別紙1 捕獲従事者名簿のとおり
	安 全 管 理 体 制	
	夜 間 銃 猟 の 実 施	1 有 2 無
鳥獣捕獲等事業に従事する者の技能及び知識		
鳥獣捕獲等事業に従事する者に対する研修の実施		
研修の実施状況		

- 注1 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。  
 2 「鳥獣捕獲等事業により捕獲等をする鳥獣の種類及びその方法」の欄には、装薬銃・空気銃・わな・網ごとに対象とする全ての鳥獣を記載すること。  
 3 数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。  
 4 この申請書の各欄に記入できないものは、別紙に記入の上添付すること。  
 5 別紙2に掲げる書類のほか、知事が必要と認める書類を添付すること。

## 別紙1 捕獲従事者名簿

氏名	生年月日	狩猟免許の種類	※銃器を使用する場合		救急救命講習 の受講の有無
			銃器の種類	夜間銃猟をする 者	

捕獲従事者名簿の記載に当たっては、次の事項に留意すること。

- 1 全ての捕獲従事者は、安全管理講習及び技能知識講習を修了していること。
- 2 「狩猟免許の種類」の欄には、捕獲従事者が現に受けている全ての狩猟免許の種類（第1種銃猟免許、第2種銃猟免許、わな猟免許又は網猟免許）を記載すること。
- 3 銃器を使用する場合は、「銃器の種類」の欄に当該捕獲従事者が鳥獣捕獲等事業で使用する全ての銃器の種類（散弾銃、ライフル銃、空気銃等）を記載することとし、夜間銃猟を実施する場合は、捕獲従事者のうち実際に夜間銃猟をする者について、「夜間銃猟をする者」の欄に○を記載すること。なお、全ての夜間銃猟をする者は、夜間銃猟安全管理講習を修了しているとともに、夜間銃猟の技能要件を満たすこと。
- 4 「救急救命講習の受講の有無」の欄については、捕獲従事者が受講した場合は○を記載すること。なお、捕獲従事者の半数以上が受講していること。

## 別紙2 添付書類一覧

※申請書に添付した書類について、□にレ印を付すこと。

※前回申請時に提出した書類から変更がなく、知事が別に指示する書類については、その添付を省略することができる。  
ただし、下線のものは必ず添付すること。

- 法人の定款又は寄附行為
- 法人の登記事項証明書
- 役員及び事業管理責任者の名簿（代表者を含む役員及び事業管理責任者の住所、本籍、氏名、生年月日及び役職）
- 雇用契約書の写しその他申請者の事業管理責任者に対する使用関係を証する書類
- 鳥獣捕獲等事業の実施に係る安全管理規程（夜間銃猟の実施に係る安全管理規程を含む。）
- 事業管理責任者が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則（以下「施行規則」という。）第19条の4第1項第2号イ及びロに掲げる事項を実施する旨を誓約する書面
- 事業管理責任者及び捕獲従事者の狩猟免許の写し
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した救急救命講習の修了証の写し又はこれに類する書類（新たに講習を修了した者に係るものに限る。）
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した安全管理講習の修了証の写し又はこれに類する書類（新たに講習を修了した者に係るものに限る。）
- 事業管理責任者及び捕獲従事者が受講した技能知識講習の修了証の写し又はこれに類する書類（新たに講習を修了した者に係るものに限る。）
- 施行規則第19条の7に規定する研修に関する計画書
- 研修の実施状況に関する報告書
- 申請者の捕獲実績を記した書類（鳥獣の捕獲等の発注者の氏名又は名称、鳥獣の種類、実施期間、実施区域、捕獲等の方法及び捕獲数を記した書類（事業の計画書、仕様書、事業報告書等）並びに申請前3年以内に実施した鳥獣の捕獲等において発生した全ての事故に関する報告書を含む。）
- 役員及び事業管理責任者が施行規則第19条の8第3号イからホまでに該当しない旨の誓約書
- 施行規則第19条の8第4号に規定する損害保険契約の写し又は同号に規定する共済事業の被共済者であることを証する書類
- 申請者が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の4に規定する欠格事由に該当しない旨の誓約書

（銃猟による事業を実施する場合）

- 捕獲従事者の銃砲刀剣類所持許可証の写し（麻醉銃猟にあつては、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第5条第2項に定める人命救助等に従事する者届出済証明書の写しを含む。）

（夜間銃猟を実施する場合）

- 夜間銃猟をする捕獲従事者の技能が基準に適合することを証する書類
  - 射撃技能を証明する書類
  - 捕獲実績に関する書類
  - 人格識見を有する旨の推薦書
- 夜間銃猟安全管理講習の修了証の写し（新たに講習を修了した者に係るものに限る。）
- 夜間銃猟の実施に係る安全管理規程

別記第2号様式の次に次の2様式を加える。

第3号様式（第10条関係）

夜間銃猟作業計画確認申請書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

申請者 住 所 千 ー  
 電話番号 ー ー  
 名 称  
 代表者の氏名 印

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第14条の2第8項第2号の規定により、次の夜間銃猟に関する事項が指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に適合することについての確認を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第13条の8第1項の規定により、申請します。

夜間銃猟の実施日時		
夜間銃猟の実施区域		
夜間銃猟の実施方法	捕獲等の方法	
	安全確保策	
	捕獲等をした個体の回収及び処分方法	
夜間銃猟の実施体制	発注者	
	現場の実施体制	
	関係機関との調整状況及び連携方法	
夜間銃猟をする者		
住民の安全確保・周辺地域への注意喚起の方法		
備 考		

- 注1 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。
- 2 「夜間銃猟の実施日時」の欄には、夜間銃猟を実施する日程及び時間帯を具体的に記載すること。
- 3 「夜間銃猟の実施区域」の欄には、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記載すること。
- 4 「夜間銃猟の実施方法」の「捕獲等の方法」の欄には、「餌付けにより誘引して射撃する方法」等と記載すること。「安全確保策」の欄には、明るさの確保の方法（照明器具又はナイトスコープの使用等）、バックストップの確保、着弾点の安全性の確認の方法等について具体的に記載すること。
- 5 「夜間銃猟の実施体制」の「現場の実施体制」の欄には、夜間銃猟を実施する際の従事者の配置（現場責任者の配置、射手の名前及び狩猟免許番号）及び緊急連絡体制等を記載すること。「関係機関との調整状況及び連携方法」の欄には、市町村及び警察署を含む関係機関との調整状況、連携方法等について記載すること。
- 6 「夜間銃猟をする者」の欄には、夜間銃猟の捕獲従事者の要件を満たす射手のうち本申請で夜間銃猟に従事する全ての射手の名前、狩猟免許番号、使用する銃の種類、所持許可証番号及び所持許可証交付年月日を記載すること。
- 7 「住民の安全確保・周辺地域への注意喚起の方法」の欄には、住民の立入禁止措置、立入りの有無の確認方法等を記載すること。

添付書類

- 1 夜間銃猟の実施区域を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図及び必要な場合は実施場所の状況が分かる天然色写真
- 2 夜間銃猟の実施方法を明らかにした図面並びに射撃場所、射撃方向、その付近の状況、安全確保のための措置その他夜間銃猟の安全性を確保するために必要な事項を明らかにした縮尺5千分の1以上の概況図及び天然色写真等の中から必要な書類
- 3 夜間銃猟安全管理規程
- 4 認定証の写し及び夜間銃猟をする者を含む捕獲従事者名簿
- 5 必要に応じて、別紙により詳細な作業計画を添付すること。

第4号様式（第10条関係）

## 指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証交付申請書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

申請者 主たる事務所の所在地 〒 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_  
名 称 \_\_\_\_\_  
代表者の氏名 \_\_\_\_\_ 印

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第14条の2第9項において読み替えて適用する同法第9条第8項の規定により、指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

指定管理鳥獣捕獲等事業 の実施期間	
指定管理鳥獣捕獲等事業 の実施区域	
従事者の住所・氏名・職 業・生年月日	指定管理鳥獣捕獲等事業者の従事者名簿のとおり

注 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。

(別紙)

指定管理鳥獣捕獲等事業者の従事者名簿

住 所	氏 名	印	職 業	生年月日	※銃器を使用する場合			備考
					所持許可番号	許可年月日	銃器の種類	

注1 ※については、銃器を使用する場合は、当該従事者が指定管理鳥獣捕獲等事業で使用する全ての銃器について記載し、「銃器の種類」の欄には、散弾銃、ライフル銃、空気銃等の別について記載すること。

2 氏名を自筆で記入したときは、押印を省略することができる。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。